

# 健康推進課

- ・ 地 域 医 療 係

- ・ 健 康 づ く り 係

- ・ 母 子 保 健 係

- ・ 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス ワ ク チ ン 接 種 対 策 係

## 1. 地域医療係

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 地域医療対策事業 (平成20年度)	千円 11,279	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電話健康相談事業（平成31年度から保険年金課より所管替）</li> <li>○救急医療在宅当番医制（昭和52年度～） 館林市邑楽郡医師会に委託し、当番医制により休日（日曜・祝日・年末年始）における地域の診療体制確保を図る。 ・診療科目：内科・外科・耳鼻科</li> <li>○休日歯科診療所（平成4年度～） 館林邑楽歯科医師会による休日歯科診療（日曜・祝日・年末年始）に係る運営費の負担を行う。</li> </ul>
2. 感染症予防事業 (昭和29年度)	6,949	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症予防 ・感染症予防思想の普及啓発を図る。 ・マスク・防護服・消毒薬等の備蓄を行い、新型インフルエンザ等の感染症流行に備えた対策を講じる。</li> <li>○結核健康診断 40歳以上の市民（勤務先・学校等で健康診断を受ける人を除く）を対象として胸部X線撮影を行い、結核の早期発見及び流行防止を図る。</li> </ul>
3. 保健センター 管理運営 (昭和58年度)	7,414	健康教育・健康診査・栄養指導など、住民に対する保健サービス提供のため、総合的な拠点となる保健センターの管理運営を行う。
4. 夜間急病診療所 管理運営 (昭和59年度)	38,344	<p>夜間における急病患者の応急的な診療を行う夜間急病診療所の管理運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科目：内科・小児科</li> <li>・診療日：月～土曜日（祝日・年末年始を除く）</li> <li>・診療時間：午後7時～午後10時</li> <li>・休日当番医(外科)：2か月に1回、午前9時～午後5時の診療（令和2年11月～）</li> </ul>

## 2. 健康づくり係

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 保健活動推進事業 (昭和53年度)	千円  667	自殺予防対策の推進を図るため、自殺対策計画に基づく実践的な取組を推進する。また、保健事業を実施する保健師、管理栄養士等の確保及び資質の向上に努めるとともに、保健事業充実のため、医師会・歯科医師会との連携を図る。  〔自殺予防〕 自殺予防の推進に向けた事業を実施 ・人材育成事業：ゲートキーパー養成研修の実施 ・普及啓発事業：こころの健康づくり講演会の実施。自殺対策月間（9月・3月）中のイベント（健康展）の開催。産後うつ予防対策 ・若年層対策事業：成人式での啓発物品の配布
2. 健康づくり推進事業 (昭和53年度)	1,633	〔健康大学〕 市民の健康づくりを推進するために、ボランティア活動のできる市民を対象に開催し、食生活改善推進員を養成する。  〔食生活改善推進員〕 健康大学の修了者が、料理講習会等の開催を通じて、地域の栄養改善に努める。また、適切な食生活改善を推進するため、推進員自らの研修会等を行う。 (昭和57年より実施) 食生活改善推進員数 67名  〔健康まつり〕 健康づくり推進懇話会との共催で、市民一人ひとりの健康意識を高めるために、健康づくり推進大会、健康情報の提供、健康チェック、健康相談等を行う。  〔健康づくり推進懇話会〕 健康づくり推進懇話会委員21名により組織し、市民の健康づくりのための計画や方策について意見又は助言を求める。
3. 健康寿命延伸 産学官プラットフォーム事業 (平成30年度)	2,479	〔健康寿命延伸プラットフォーム〕 健康寿命延伸に向けた事業実施と健康情報を発信するため、活動量計を利用した生活習慣病予防に有効なウォーキングの実践と市民の野菜摂取を促すためのメニューやサービスを提供する飲食店や販売店（野菜摂取推進店）を登録し、健康情報の周知、啓発を行う。
4. 生活習慣病予防事業 (昭和57年度)	111,306	健康教育、健康相談を通して、生活習慣病予防のための知識普及を行うとともに、疾病の早期発見・早期治療のために各種健康診査等を実施し、健康診査の結果により生活習慣の改善が必要なかたに対して保健指導を行い、疾病の予防や重症化予防を図る。  〔健康手帳の交付〕 40歳以上の者に対し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資することを目的として、健康教育、健康相談、健康診査時等に交付する。  〔健康教育〕 ○集団健康教育 生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行い、壮年期からの健康の保持・増進を図る。 ・一般 ・歯周疾患 ・ロコモティブシンドローム ・慢性閉塞性肺疾患（COPD） ・病態別 ・薬  〔健康相談〕 ○重点健康相談 医師、歯科医師、保健師、管理栄養士等により、心身の健康に関する個別の相談に応じ、日常生活に合わせた必要な指導、助言を行う。 ・高血圧 ・脂質異常症 ・糖尿病 ・歯周疾患 ・骨粗しょう症 ・女性の健康 ・病態別（肥満、心臓病等）  ○総合健康相談 心身の健康に関する一般的事項について、総合的な指導及び助言を行う。



事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
4. 生活習慣病予防事業 (昭和57年度)	千円  111,306	<p>○乳がん検診 40歳以上の女性を対象に、乳腺疾患を早期発見するため、問診、マンモグラフィ検査を行う。また、健康教育を行い、がん予防に努める。(40歳以上で前年度未受診女性：集団検診)</p> <p>○前立腺がん検診 50歳以上の男性を対象に前立腺がんを早期発見するため、問診、血液検査(P S A検査)を行う。また、健康教育を行い、がん予防に努める。 〔集団検診及び個別検診(医療機関委託)〕</p> <p>○胃がんリスク(ABC)検診 30・35・40・45・50・55・60・65・70歳で一度も市の検診を受診していない者に対し、問診、血液検査(ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査)を行い、胃がんになりやすい危険度を判定する。更に、危険度に応じた保健指導を行うことにより、胃がんの早期発見に努める。 〔集団検診及び個別検診(医療機関委託)〕</p> <p>〔健診事後指導 訪問指導等〕 保健指導が必要であると認められる者等に対して家庭訪問等で健康問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。</p> <p>〔がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業〕 がん治療に伴う外見の悩みを抱える者に対し、ウィッグまたは胸部補整具の購入費の一部を助成する。</p>





事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 母子保健対策事業 (昭和51年度)	千円  66,444	<p>[産婦健康診査]</p> <p>産後うつや新生児への虐待予防を図るため、産後2週間及び1か月の産婦健康診査費用の一部を助成。助成上限額5,000円。医療機関委託により実施。(問診、診察、体重・血圧測定、尿検査、エジンバラ産後うつ病質問票)</p> <p>[不妊治療費等助成]</p> <p>不妊治療に要する費用の一部を助成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般不妊治療：治療費の自己負担額の1/2 (通算5か年度、上限額まで複数申請可、年度内上限額5万円)</li> <li>・特定不妊治療：治療費の自己負担額の1/2 (通算6回、年2回上限、1回当たり上限額10万円)</li> <li>・男性不妊治療：治療費の自己負担分の1/2 (通算6回、年2回上限、1回当たり上限額15万円)</li> <li>・不育治療：治療費の自己負担分の1/2 (通算5か年度、上限額まで複数申請可、年度内上限額30万円)</li> </ul> <p>[母子保健推進員活動]</p> <p>母子保健推進員により、担当地区の母子に対して、健康診査の勧めや育児不安に対しての相談等を行い市とのパイプ役として活動を行う。また、乳幼児健診等の母子保健事業の協力を行う。 (昭和55年度より実施) 母子保健推進員数 76名</p> <p>[未熟児養育医療給付]</p> <p>身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする1歳未満の乳児に対し、入院治療にかかる医療費等を給付を行う。</p>
2. 妊娠・出産包括 支援事業 (平成26年度)	23,837	<p>妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を行うための事業を実施する。</p> <p>[母子保健コーディネーター事業]</p> <p>母子保健コーディネーターを中心に、妊娠期から子育て期にわたる総合的支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦に必要な情報を提供</li> <li>・関係機関と調整し必要な支援につなぐ</li> <li>・セルフプランや支援プランの作成</li> <li>・定期的なフォローの実施</li> <li>・多言語音声翻訳アプリを用いた外国人支援</li> </ul> <p>[産前産後サポート事業]</p> <p>妊産婦の孤立感の解消のため、保健師、助産師等による相談支援や、子育て支援情報の提供、子育て経験者やシニア世代等による家事援助や話し相手を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中、生後28日までの全戸訪問事業</li> <li>・産前産後サポーター派遣事業</li> <li>・祖父母教室の開催</li> <li>・子育て支援モバイルサービス事業</li> <li>・子育て応援冊子配布事業</li> <li>・子育てサロン</li> <li>・多胎妊産婦交流事業(多胎ファミリーサロン)</li> <li>・双子手帳の交付</li> </ul> <p>[産後ケア事業]</p> <p>出産直後の産婦の健康面の悩みや育児不安などを解消するため、助産師による心身のケアや休養等支援を行う。</p>
3. 予防接種事業 (昭和29年度)	227,830	<p>各種予防接種を実施し、各種疾病の予防を図る。</p> <p>[定期予防接種]</p> <p>○ロタ</p> <p>1価：出生6週0日後から出生24週0日後までの間にある者 27日以上の間隔を空けて、出生24週0日後までに2回接種</p> <p>5価：出生6週0日後から出生32週0日後までの間にある者 27日以上の間隔を空けて、出生32週0日後までに3回接種</p>





事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
3. 予防接種事業 (昭和29年度)	千円  227,830	<p>○子宮頸がん 定期接種：小学校6年生～高校1年生相当の女子（3回接種） キャッチアップ接種：平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子（3回接種のうち未接種分） 2価：1月の間隔で2回接種、1回目から6月の間隔で1回接種 4価：2月の間隔で2回接種後、1回目から6月の間隔で1回接種</p> <p>○高齢者インフルエンザ 満65歳以上のかた 60～64歳までで特定の疾患を有するかた ※毎年度1回</p> <p>○高齢者用肺炎球菌 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となるかた 60～64歳までで特定の疾患を有するかた ※1回限り</p> <p>〔任意予防接種費用助成〕</p> <p>○おたふくかぜ（2回） ○風しん（成人） ○高齢者用肺炎球菌 ○骨髄移植者等予防接種再接種 ○ヒトパピローマウイルス感染症に係る子宮頸がん予防ワクチン</p>

#### 4. 新型コロナウイルスワクチン接種対策係

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要															
1. 新型コロナウイルス ワクチン接種事業 (令和2年度)	千円  255,675	<p>○新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するための予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。</p> <p>○令和3年度接種実績 (令和4年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="679 450 1273 611"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>接種者数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td rowspan="2">73,125人</td> <td>60,943人</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>60,326人</td> <td>82.5%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>68,959人</td> <td>26,841人</td> <td>38.9%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者数	接種者数	接種率	1回目	73,125人	60,943人	83.3%	2回目	60,326人	82.5%	3回目	68,959人	26,841人	38.9%
	対象者数	接種者数	接種率														
1回目	73,125人	60,943人	83.3%														
2回目		60,326人	82.5%														
3回目	68,959人	26,841人	38.9%														